



## ◎第二調査部主査會

昭和十二年一月八日午後五時ヨリ丸ノ内會館に於て、第二調査部第八回國際道路會議々題調査會主査會を開催、第二調査部委員長藤井眞造、第二調査部第一主査大石義郎、同第二主査加藤伴、平同第三主査鈴木清一、同第四主査菊池明、同第五主査小澤久太郎、同第六主査松村孫治の諸氏出席、各部議題の内容並に調査研究方法に付き審議し、午後八時散會。

## ◎幹事會開催

一月十五日午前十時より内務省土木局道路課長室に阿部道路課長、佐藤第二技術課長、藤井試験所長、加藤技師、近藤、谷口兩土木事務官、都筑、小島兩幹事出席左記諸事項に付き擬議し尙二十日正午より續行審議することとし散會  
○道路職員必携發行(第五部)、賞品發送(第七部)○役員證

考會理事會ニ翌年度豫算附議○六大都市道路協議會「十五、十六、十七日」(第三部)○總會、國際道路會議調査書取纏印刷(第二部)○國際道路會議本部宛發送○會員名簿印刷(四月一日現在)○道路職員講習會開催(一日ヨリ一週間)○道路費財源ノ研究(資料トシテ發行)第一部、第六部○道路ボスター取纏審議(第七部)「加藤主査」○平面交叉除却調査報告作製(第四部)○大正八年以降道路改良史編纂、牧、佐上囑託(第八部)○道路法及附屬法令改正調査(第一部)「細田主査」○道路改良史發行、○海外道路交通視察獎勵講習錄發行(第八部)○理事會(翌年度事業豫算等附議)

## 廣島縣支部の設置

廣島縣に於て道路改良會支部設置の儀申請中の所今回本會に於て之を承認し愈々廣島縣道路改良會支部が設置せられた。

## ◎近刊の圖書雜誌

○科學知識(新年號) (内務省土木局第二技術長佐藤利恭

氏) 都市交通機關のスピード化について 東京市技師石

原憲治氏) 理想の都市形態)

○土木學會誌(二三卷一號) (陸軍工兵中佐鎌田錐一氏)

土木構築物に對する投下爆彈の威力に就て)

○國際觀光(五卷一號) (津村秀松氏) 紀州の人文と地文を語る)

○新民(三二編一號) (内務省地方局長大村清一氏) 地方自治を統制改革、内務省地方局行政課長加藤於菟丸氏) 地方制度改革論の擡頭、蠟山政道氏) 地方團體の社會的機能)

○土木試験所報告(三六號) (瀝青透入マカダムに關する試験、道路鋪裝用瀝青乳劑の性状に關する基本的研究)

○大大阪(二三卷一號) (大阪商科大學講師小川市太郎氏) ナチス治下の地方行政)

○技術日本(一六九號) (瀧孫次氏) 技術者の事務的常識範圍)

○都市問題(二四卷一號) (田川大吉郎氏) 自治制度の破壊、自治觀念の培養、神長倉眞氏) 明治維新と遷都) 東京は依然として江戸である)

○土木建築工事畫報(二三卷一號) (鐵道省下關改良事務所長釘宮磐氏) 關門海底隧道の計畫に就て)

○港灣(一五卷一號) (門司稅關長谷岡勝美氏) 關門西港の統一に就て)

○法律時報(九卷一號) (尾佐竹猛氏) 軍人政治に干與すべからず、堀眞琴氏) 議會政と獨裁政) 最近諸國に於る政治制度上の傾向)

○電信電話學會雜誌(一六五號) (遞信省電務長平澤要氏) 我國電氣通信事業の大勢)

○觀光聯盟情報(一卷一號) (木村旅客課長) 色々から見た旅、市川八雄氏) 觀光事業についてのある示唆)

○工政(一九九號) (今日の人明日の人) 春景色見直東京) 東北振興考查委員會報告(一一、一二月) (交通に關する建議事項) 東北振興上交通機關に關し特に調査を要する事項)

○水利と土木(一〇卷一號) (内務省土木局長岡田文秀氏の土木事業年頭所見、内務省技監辰馬錄藏氏の若き技術者と語る)

○乗合自動車(一一卷一號) (鐵道省監督局陸運課長山脇秀輔氏の自動車運輸事業統制の現段階と其の將來)

○セメントコンクリート道路(四三號) (島根縣道路講習會講演集) 九州帝國大學教授工學博士久野重一郎氏の米國に於ける道路の新研究に就て)

○セメントコンクリート道路(四二號) (コンクリート鋪裝調査報告第二卷關西道路研究會コンクリート鋪裝調査委員會)

○早稻田建築學報(二三號) (木村幸一郎氏の太陽輻射材料の表面に於ける反射について) 赤土表面、砂表面、コンクリート歩道、砂利道、芝生、アスファルト歩道)